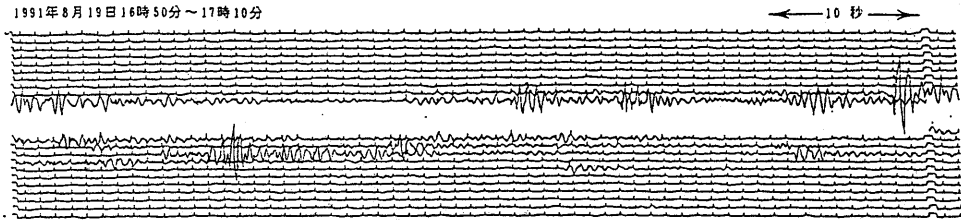


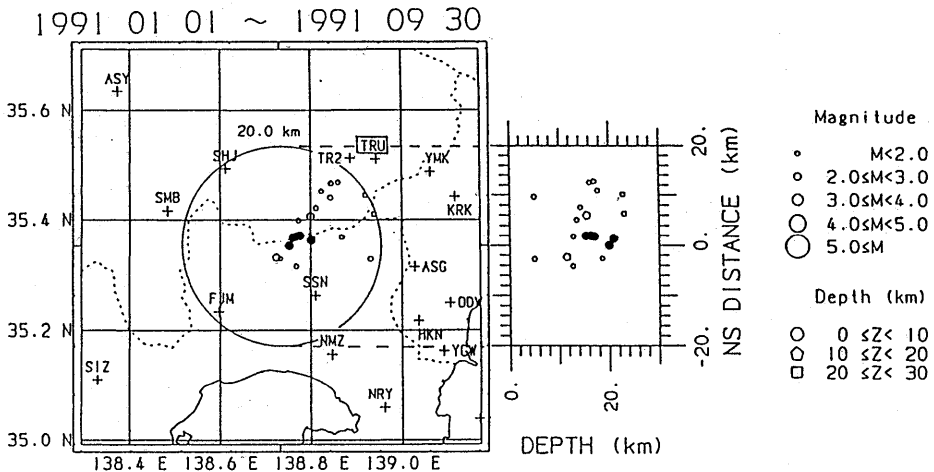
富士山直下の低周波地震活動*

防災科学技術研究所

富士山直下では、低周波地震が間欠的に発生しているが、1991年は8月19日にやや規模の大きい活動があった。観測波形を第1図に示す。数分間にわたり低周波地震が続発している。震源は富士山直下10~20 kmに推定された(第2図)。



第1図 TRU観測点で記録された1991年8月19日に発生した低周波地震の波形。
Fig. 1 Low frequency earthquakes of Aug. 19, 1991 recorded at TRU.



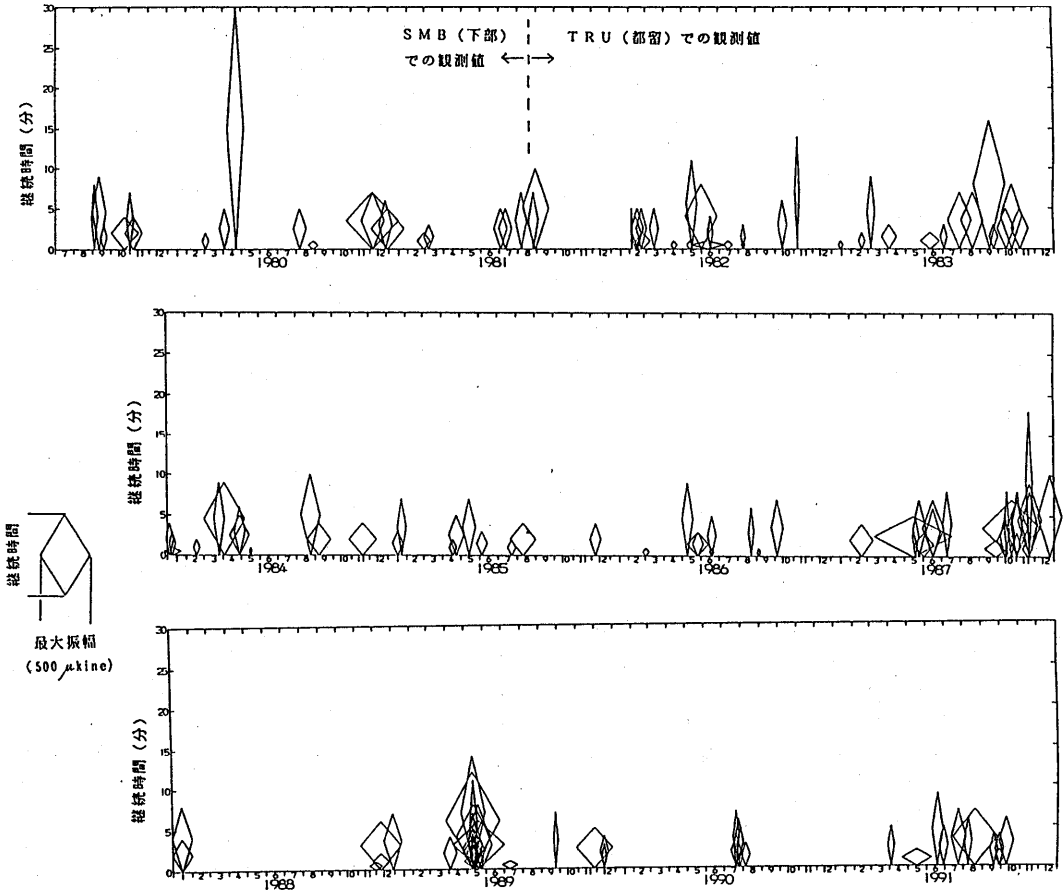
第2図 低周波地震(1991/8/19)の震源(●)と富士山頂から半径20 km以内の震源分布。
Fig. 2 Hypocenters of the low frequency earthquakes (1991/8/19)(●) and those within the distance smaller than 20 km from the summit.

* Received 25 Dec., 1991

振幅から推定される規模は、最大のものでマグニチュード 1.8 である。

1979年7月以降の低周波地震の活動状況を TRU 観測点 (1981年8月以前は SMB 観測点) での最大振幅と継続時間により第3図に示す。活動期と静穏期に分かれる傾向がみられる。最近では1987年、1989年に活動の活発化がみられた。

(鵜川 元雄)



第3図 1979年7月から1991年11月までのTRU観測点で観測された低周波地震の最大振幅と継続時間 (1981/8以前はSMB)。

Fig. 3 Maximum amplitudes and duration times of the low frequency earthquake activities since July, 1979, observed at TRU (at SMB before Aug. 1981).